

中 央 市 公 共 施 設 等 第 1 期 個 別 施 設 計 画
(平成 30 年度～令和 9 年度)
【改訂部分抜粋】

令和 4 年 3 月改訂
令和 5 年 3 月一部改訂
中 央 市

改訂について

令和 5 年 3 月一部改訂

第 6 章の内「1 施設評価結果」及び「2 対策の効果額」の一部を変更

- 1 施設評価が「検討」となっていた施設の一部の評価を実施
- 2 事業の進捗に伴い対策予定（ロードマップ）等の見直しを実施

目 次

第1章 計画の背景と目的

- 1 背景と目的
- 2 計画の位置づけ
- 3 対象施設
- 4 計画期間

第2章 本市の現況

- 1 市の概要
- 2 本市の将来人口
- 3 財政状況の推移
- 4 総合管理計画の基本方針
- 5 総合管理計画及び改訂個別施設計画の公共建築物削減目標

第3章 公共建築物の配置状況等の整理

- 1 地域区分の設定
- 2 計画の対象施設と分類
- 3 施設配置状況
- 4 改訂個別施設計画の対象施設と施設ごとの課題・特徴

第4章 長寿命化の基本方針

- 1 目標使用年数
- 2 改修等の実施時期と改修コストの考え方
- 3 施設保全の手法と優先順位の考え方
- 4 点検・診断の考え方

第5章 施設評価の考え方

- 1 施設評価の流れ
- 2 1次評価・2次評価の考え方
- 3 中長期的な基本方針の考え方
- 4 中長期的な基本方針
- 5 総合評価の考え方

第6章 施設評価結果

- 1 施設評価結果
- 2 対策の効果額
- 3 将来対策費の試算
- 4 今後の取組方針等

令和5年3月改訂部分

第6章 施設評価結果

1 施設評価結果

中分類ごとの施設評価結果は以下に示すとおりとなります。

なお、2次評価については、後掲の施設評価シートをご確認ください。

(1) 施設評価一覧

表 18 施設評価結果（博物館等） (千円)

No	施設名称	1次 評価	2次 評価	総合評価 【建物】	総合評価 【機能】	第1期対策 (建物)	第1期費用 (千円)	R29年度まで の対策費用
9	豊富郷土資料館	Ⅲ 類型	※	維持管理	現状維持	維持管理	0	161,938

表 19 施設評価結果（スポーツ施設） (千円)

No	施設名称	1次 評価	2次 評価	総合評価 【建物】	総合評価 【機能】	第1期対策 (建物)	第1期費用 (千円)	R29年度まで の対策費用
15	与一弓道場	Ⅰ 類型	※	維持管理	現状維持	維持管理	0	30,240

表 20 施設評価結果（レクリエーション施設） (千円)

No	施設名称	1次 評価	2次 評価	総合評価 【建物】	総合評価 【機能】	第1期対策 (建物)	第1期費用 (千円)	R29年度まで の対策費用
17	シルク工芸館ふれあい館 (シルクふれんどりい)	Ⅲ 類型	※	維持管理	集約（主）	大規模改修	425,376	673,512

表 21 施設評価結果（産業施設） (千円)

No	施設名称	1次 評価	2次 評価	総合評価 【建物】	総合評価 【機能】	第1期対策 (建物)	第1期費用 (千円)	R29年度まで の対策費用
18	道の駅とよみ（交流促進 センター・農産物直売所・ 農畜産物処理加工施設）	Ⅰ 類型	※	維持管理	現状維持	維持管理	0	965,200

表 24 施設評価結果（高齢福祉施設） (千円)

No	施設名称	1次 評価	2次 評価	総合評価 【建物】	総合評価 【機能】	第1期対策 (建物)	第1期費用 (千円)	R29年度まで の対策費用
39	大鳥居ふれあいプラザ	Ⅱ 類型	※	維持管理	現状維持	維持管理	0	5,878

(2) 施設評価シート

施設ごとの評価結果は以下のとおりです。

表 35 施設評価シート（博物館等）

施設名：豊富郷土資料館

1次評価（定量評価）		Ⅲ類型			担当課		産業課		
2次評価（定性評価）									
地域再生基本構想・改善計画により調査検討を行い、当面の間は現状を維持管理していく。									
総合評価（R3年度～R9年度）									
建物（ハード面）					機能（ソフト面）				
維持管理					現状維持				
対策(建物)		維持管理			長寿命化	○	優先度	B	
対策予定									
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	概算額計 (千円)	
対策	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理		
費用	－	－	－	－	－	－	－		
0									
説明									
適正な維持管理を実施。									

※社会経済状況、市財政状況、事業進捗状況等により実施年度や対策を見直すことがあります。

変更理由

地域再生基本構想・改善計画に基づき検討し、施設状況や他施設の状況等を考慮し、当面は適正な維持管理を実施していく。

表 36 施設評価シート（スポーツ施設）

施設名：与一弓道場

1次評価（定量評価）		I 類型		担当課		産業課		
2次評価（定性評価）								
地域再生基本構想・改善計画により調査検討を行い、当面の間は現状を維持管理していく。								
総合評価（R3年度～R9年度）								
建物（ハード面）				機能（ソフト面）				
維持管理				現状維持				
対策(建物)	維持管理			長寿命化	○	優先度	B	
対策予定								
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	概算額計 (千円)
対策	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	
費用	－	－	－	－	－	－	－	0
説明								
適正な維持管理を実施。								

※社会経済状況、市財政状況、事業進捗状況等により実施年度や対策を見直すことがあります。

変更理由

地域再生基本構想・改善計画に基づき検討し、施設状況や他施設の状況等を考慮し、当面は適正な維持管理を実施していく。

表 37 施設評価シート（レクリエーション施設）

施設名：シルク工芸館ふれあい館（シルクふれんどりい）

1次評価（定量評価）		Ⅲ類型		担当課		産業課		
2次評価（定性評価）								
地域再生基本構想・改善計画により調査検討を行い、当該施設を中心とした様々な交流の場の提供と観光政策推進による地域活性化のため、建物の大規模改修及び改善工事の実施を目指す。								
総合評価（R3年度～R9年度）								
建物（ハード面）					機能（ソフト面）			
維持管理					集約（主）			
対策(建物)	大規模改修			長寿命化	○	優先度	B	
対策予定								
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	概算額計
対策	維持管理	維持管理	大規模・改善	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	(千円)
費用	－	－	425,376	－	－	－	－	425,376
説明								
当該施設は、観光政策において主要な施設であり、市営温泉施設の集約化も行うことから、大規模改修・改善工事を実施する。 また、工事の実施については、国の補助制度を活用し財源確保に努める。								

※社会経済状況、市財政状況、事業進捗状況等により実施年度や対策を見直すことがあります。

変更理由

地域再生基本構想・改善計画に基づき、施設のあり方や観光政策の取組、他施設の状況等を総合的に検討した結果、早期の大規模改修・改善工事を目指すこととなったため。

表 38 施設評価シート（産業施設）

施設名：道の駅とよみ（交流促進センター・農産物直売所・農畜産物処理加工施設）

1次評価（定量評価）		I 類型		担当課		産業課		
2次評価（定性評価）								
地域再生基本構想・改善計画により調査検討を行い、当面の間は現状を維持管理していく。								
総合評価（R3年度～R9年度）								
建物（ハード面）					機能（ソフト面）			
維持管理					現状維持			
対策(建物)	維持管理			長寿命化	○	優先度	B	
対策予定								
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	概算額計
対策	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	(千円)
費用	－	－	－	－	－	－	－	0
説明								
適正な維持管理を実施。								

※社会経済状況、市財政状況、事業進捗状況等により実施年度や対策を見直すことがあります。

変更理由

地域再生基本構想・改善計画に基づき検討し、施設状況や他施設の状況等を考慮し、当面は適正な維持管理を実施していく。

表 41 施設評価シート（高齢福祉施設）

施設名：田富福祉公園コミュニティーセンター

1次評価（定量評価）	IV類型		担当課	長寿推進課				
2次評価（定性評価）								
利用者数は、平成29年度から令和元年度まで減少傾向となっている。また、当該施設は、維持管理・運営費に年間2,500万円以上の経費が掛かっており、施設の収支は大幅な赤字となっている。建物は、老朽化が進んでおり特に温泉設備関係での老朽が進み、度々設備の故障が発生している。 当該施設を今後も現在と同様の運営をする場合は、維持管理・運営費に加え、長寿命化工事に係る多額の費用が必要になると見込まれる。 よって、長寿命化工事は行わず、市内外に類似施設があることから、機能面を他施設へ集約化することとする。具体的には、シルク工芸館ふれあい館（シルクふれんどりい）の温泉施設等を活用し機能集約を実施するものとする。 また、福祉公園内にあるゲートボール場は現在、団体等の利用者が一定程度あるが、将来的には利用者の減少が見込まれる。また、利用者による施設の維持管理が頻繁に行われているが、老朽化は進んでいる。また、テニスコートは、利用者の減少と施設老朽化が進んでいることから将来的には機能集約を行い当該施設は廃止する方向とする。								
総合評価（R3年度～R9年度）								
建物（ハード面）			機能（ソフト面）					
解体			集約（副）					
対策(建物)	解体		長寿命化	—	優先度			
				—				
対策予定								
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	概算額計
対策	維持	維持	用途廃止	集約	—	—	解体	(千円)
費用	—	—	—	—	—	—	44,330	44,330
説明								
機能集約は、温泉設備が老朽化しているため早期に行う必要がある。そのため、令和6年度の機能集約を目指す。 建物については集約後に解体するものとするが、他の機能に活用する場合は、建物本体、建物設備の改修等が必要なため、費用対効果等を考慮した上で検討する。								
※社会経済状況、市財政状況、事業進捗状況等により実施年度や対策を見直すことがあります。								
変更理由								
シルク工芸館ふれあい館（シルクふれんどりい）の大規模改修工事が令和5年度に予定されていることから、計画当初のスケジュールから繰り延べて集約化する。								

施設名：豊富健康福祉センター

1次評価（定量評価）		Ⅲ類型			担当課		長寿推進課	
2次評価（定性評価）								
建物の使用状況は、市で管理運営している温泉施設部分と、中央市社会福協議会が実施しているデイサービス部分に分かれている。建物全体でみると概ね健全であるが、温泉施設については老朽化が進んでおり、利用者数は平成26年度からほぼ横ばいで推移している。当該施設の維持管理・運営費は年間1,000万円以上の経費が掛かっており、施設の収支は大幅な赤字となっている。今後も現在と同様の運営をする場合は、維持管理・運営費に加え、大規模改修に係る多額の費用が必要になると見込まれる。 よって、公共施設の適正化を推進する観点から当該温泉施設の大規模改修は行わないこととし、温泉機能については、市内外に類似施設が複数あることから、他施設の活用や機能集約を行い、当該温泉施設は廃止する。								
総合評価（R3年度～R9年度）								
建物（ハード面）					機能（ソフト面）			
用途廃止					集約（副）			
対策(建物)		用途廃止(温泉施設) 維持管理(温泉以外)			長寿命化	—	優先度	—
対策予定								
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	概算額計
対策	維持	維持	用途廃止	集約	—	—	—	(千円)
費用	—	—	—	—	—	—	—	0
説明								
機能集約は、温泉設備が老朽化しているため早期に行う必要がある。そのため、令和6年度の機能集約を目指す。 またデイサービス機能については、地域内に事業者が少ないことや、地域福祉・介護福祉充実のため、継続する。建物については、維持管理方法や改修費等の費用負担の方法について、デイサービス事業者と協議を行う。								

※社会経済状況、市財政状況、事業進捗状況等により実施年度や対策を見直すことがあります。

変更理由

シルク工芸館ふれあい館（シルクふれんどりい）の大規模改修工事が令和5年度に予定されていることから、計画当初のスケジュールから繰り延べて集約化する。

施設名：大鳥居ふれあいプラザ

1次評価（定量評価）		Ⅱ 類型			担当課		長寿推進課	
2次評価（定性評価）								
当面維持管理していくが、将来的には自治会に管理を移管することも検討する。								
総合評価（R3年度～R9年度）								
建物（ハード面）					機能（ソフト面）			
維持管理					現状維持			
対策(建物)		維持管理			長寿命化	－	優先度	－
対策予定								
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	概算額計 (千円)
対策	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	
費用	－	－	－	－	－	－	－	
0								
説明								
適正な維持管理を実施。								

※社会経済状況、市財政状況、事業進捗状況等により実施年度や対策を見直すことがあります。

変更理由

施設の老朽化は進んでおらず、小規模修繕工事で維持管理が可能なため。

2 対策の効果額

改訂個別施設計画に基づく、公共施設適正化対策を実施した場合と、対策を実施しなかった場合の将来対策費の試算額の差を効果額とします。

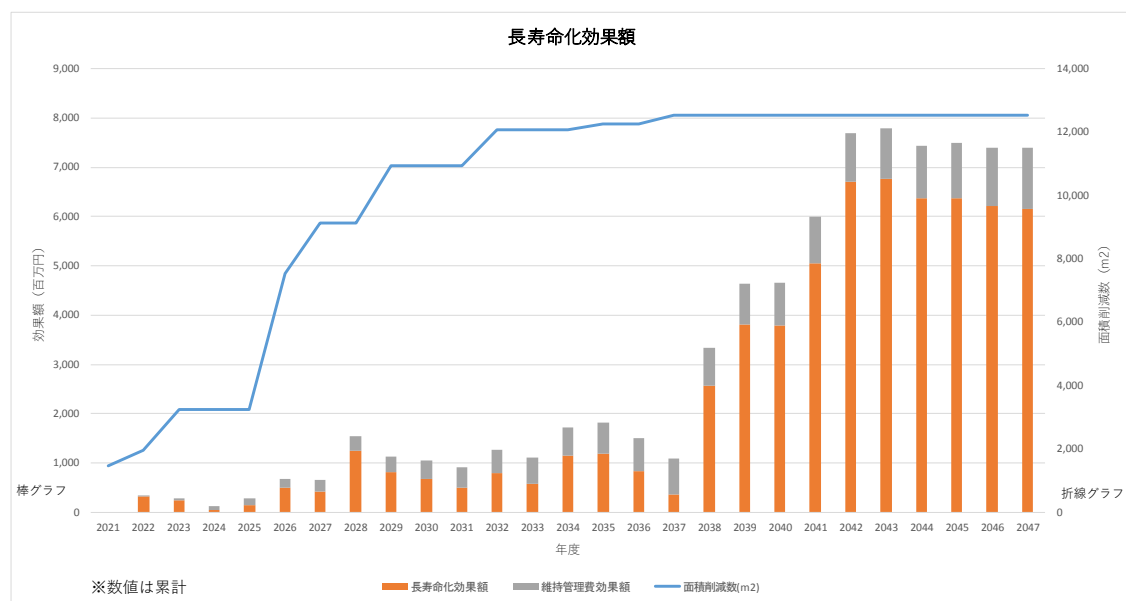
◎効果額：7,388,680 千円

期間：令和 4(2022)年度～令和 29(2047)年度

長寿命化・集約化等対策なし	13,961,460 千円 (A)
公共施設適正化対策（建設費）	7,803,734 千円 (B)
公共施設適正化対策（維持管理費(人件費除く)）	1,230,954 千円 (C)
計 (A－B＋C)	7,388,680 千円

※総合評価において対策が「検討」となっている施設の対策費用は未計上

図 16 長寿命化効果額



中央市公共施設等第 1 期個別施設計画

令和 4 年 3 月改訂

令和 5 年 3 月一部改訂

発行・編集：中央市 管財課

住所：〒409-3892

山梨県中央市臼井阿原 301 番地 1

電話：055-274-1111（代表） / FAX：055-274-7130